

臨床検査管理学

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 近藤 啓 (医療技術学部) 遠藤 輝夫 (医療技術学部) 江本 美穂 (医療技術学部)
高橋 祐輔 (医療技術学部) 沖野久美子 (医療技術学部)

【概要】

急速な検査技術の進歩や医療環境の変化にも即応できる臨床検査技師を目指すためには、医療における臨床検査の役割や検査情報の重要性、臨床検査技師の各種業務内容や検査情報の管理などを理解することが重要である。本講義では、臨床検査技師の役割・使命・意義、検査部門の組織・運営、臨床検査技師の業務、検体や検査結果の取り扱いなどについて学習する。さらに、実際の現場での業務を見学することで学習の内容をより確かなものとする。

【学修目標】

- 1) 医療現場における臨床検査・臨床検査技師の役割と意義、業務内容および各種管理について理解する。
- 2) 医療現場における臨床検査の意義について説明できる。
- 3) 医療現場における臨床検査技師の役割を説明できる。
- 4) 臨床検査技師の業務内容を説明できる。
- 5) 臨床検査における各種管理について説明できる。
- 6) 臨床検査に使用される各種検体の取扱いや保存方法について説明できる。
- 7) 臨床検査の受付や検査結果の報告について説明できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

近藤 啓 (臨床検査技師)、遠藤輝夫 (臨床検査技師)、高橋祐輔 (臨床検査技師)、沖野久美子 (臨床検査技師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療現場での経験を活かし、医療における臨床検査・臨床検査技師の役割と意義および各種管理、検体の取扱いなどについて講義する。